

最近以下のことが気になりませんか？

- ☐ 食事中に姿勢がくずれ、
独りで座れなくなってきた。
 - ☐ 食事を楽しみにしていない。
 - ☐ 食事に時間がかかりつかれる。
 - ☐ 次から次へと食べ物を口に運ぶ。
 - ☐ 噛むことが難しくなってきた。
 - ☐ 上下の奥歯や入れ歯が咬み合っていない。
 - ☐ 口から食べ物やよだれが出る。
 - ☐ 食べた後口の中に食べ物のカスがよく残っている。
 - ☐ 食物をなかなか飲み込まず、時間がかかる。
 - ☐ 頻繁にむせたり、せきこんだりする。
 - ☐ 食事中や食後に濁った声に変わる。
 - ☐ よくむせたりがらがらした声が出る。
 - ☐ 食後又は食事中に吐いてしまったことがある。
 - ☐ 食事の量に問題がある。
- (拒否、過食、偏食など)

※出典：西多摩三師会「気づきのチェックシート」改編



ひとつでもあてはまったら摂食嚥下機能（飲み込み）の障害かも知れません。
そのまま無理なお食事を続けていると、誤嚥性肺炎（食べ物・飲み物が肺に入り炎症を起こすこと）や窒息のリスクが高まります。
ずっと食べる楽しみを維持するために是非ご相談下さい。



- ◆電車・バスをご利用の方
JR八高線 箱根ヶ崎駅から2.5km タクシー 10分
JR青梅線 昭島駅北口発立川バス・IHI行き春名塚下車歩5分
- ◆お車をご利用の方
新青梅街道瑞穂ヶ谷交差点をジョイフル方面に折れ約2分

摂食嚥下機能ご相談窓口 TEL080-4795-9025



医療法人社団幹人会

菜の花クリニック歯科

〒190-1212 東京都西多摩郡瑞穂町殿ヶ谷454

TEL FAX 042-557-8015

ホームページ <http://www.kanjinkai.net/nanohanaclinic>

**食べる力、楽しみ
そして栄養を維持するために**

医療法人社団幹人会



菜の花クリニック歯科

介護老人保健施設菜の花・ユニット菜の花併設診療所

せつしよくえんげ

摂食嚥下機能評価と支援
(噛む力・飲み込む力)



相談受付

月・木・【金曜日は月1回】
(9:00~17:00)

ご相談窓口 080-4795-9025
FAX 042-557-8015

西多摩三師会：食と栄養のバリアフリー活動
摂食嚥下機能障害評価・支援協力医療機関

ISO9001認証法人



食べる楽しみを維持するために

摂食嚥下とは、「食べ物を口の中に入れる、口の中で食べ物を飲み込みやすい形にする、口からのどへ運ぶ、のどから食道へ送る、食道から胃へ送る一連の流れのこと」を言います。この流れをスムーズに行えず食べこぼしたり、食事に時間がかかったり、むせてしまったりすることを摂食嚥下障害といいます。



口から食べることは生命活動を維持するのみでなく、人に生きる意欲を与えます。高齢や疾患などにより飲み込むことが困難になると、食事が楽しめなくなり、より重度になると栄養不足や誤嚥性肺炎など生命にも関わる疾患を引き起こす場合があります。

菜の花クリニックや老健各施設では、そのような摂食嚥下障害を抱える方にできるだけ早期に対応するため、

**機能評価を行い
安全な食べ方や
調理方法の工夫
その人に合った食事作り
口や喉のリハビリテーション**
を紹介し、口から食べる喜びを支援します。

現在胃ろうなどでお口からお食事を摂っていない方に対しても、お口から食べるための検査やリハビリを行える場合があります。ご相談下さい。



西多摩三師会「食と栄養のバリアフリー活動」

